

PlayTech

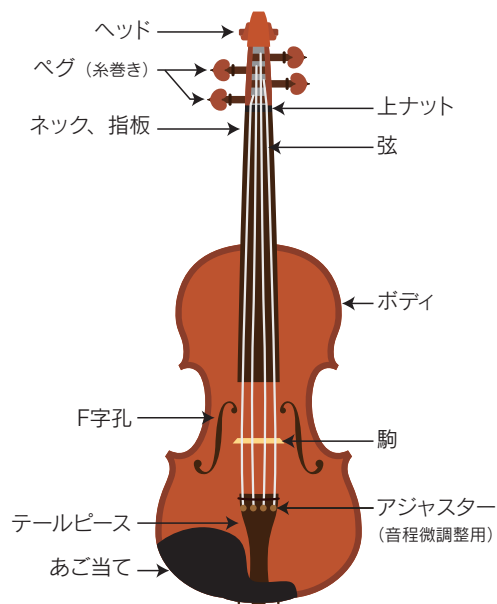
Violin / Electric Violin

はじめてお使いの方に



この度は、PLAYTECHバイオリンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この冊子では、楽器のチューニング方法や、メンテナンス方法等を記してあります。是非お役立てください。

各部分の名称



魂柱の場所

楽器の内部に立っています。高音側のF字孔から覗くと確認できます

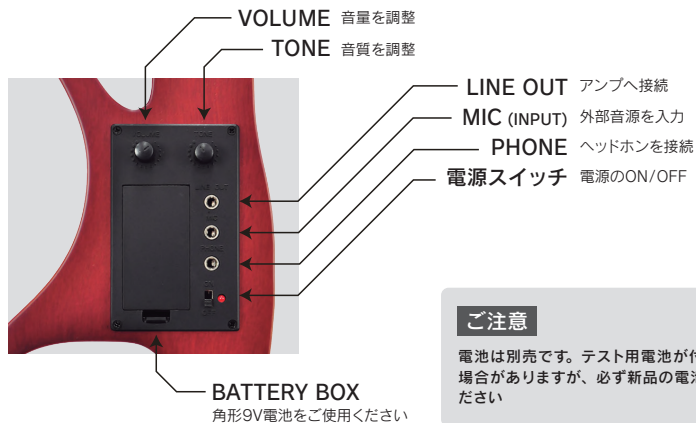


楽器の持ち方

片方の手でネックを掴み、もう片方でエンドピンを支えるように持ちます



コントロール部 (Electric Violinのみ)

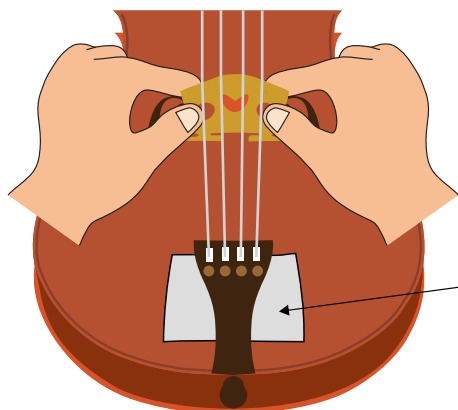


ご注意

電池は別売です。テスト用電池が付属している場合がありますが、必ず新品の電池をご用意ください

駒の姿勢の確認 重要

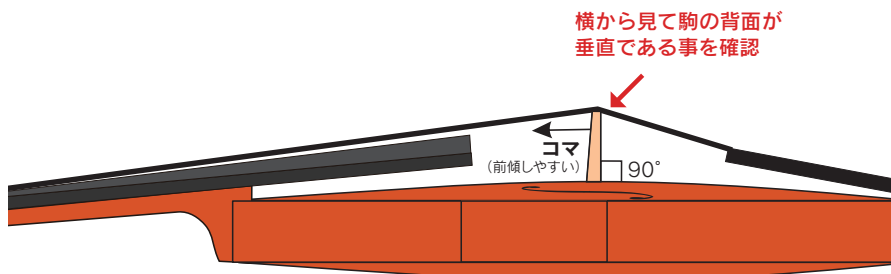
調弦（チューニング）をすると、弦の動きで駒が前傾に動くので、これを修正する必要があります（駒が倒れたり、変形したりします）。調弦の途中で駒を横から見て傾きを確認してください



楽器を左の図のようにひざに乗せ、駒の上部を両手で持ち、傾きを修正します

ハンカチなどをテールピースの下に敷くと、傷の防止になります

下の図を参考に、駒の背面がボディ表面に対して、垂直になるように調整します

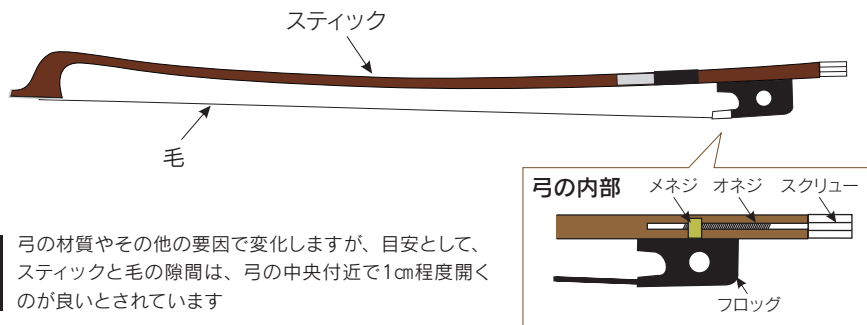


注1) 「調弦」と「駒の姿勢の確認」は必ずセットで行ってください

注2) 駒の姿勢は調弦の最中、必要に応じてこまめに確認してください

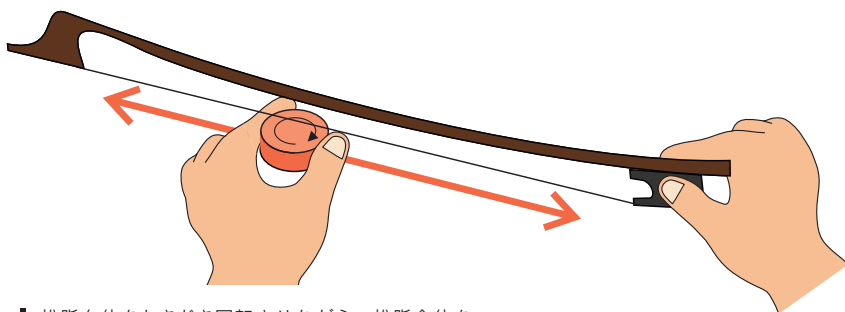
弓の調整 / 松脂の塗り方

スクリューを時計周りに回し、毛に張りを持たせ、松脂を塗り足して下さい。毛の張り加減は、スティックに反りが発生し、弦を弾いて音が出る程度が目安となります



弓の材質やその他の要因で変化しますが、目安として、スティックと毛の隙間は、弓の中央付近で1cm程度開くのが良いとされています

弓にはあらかじめ松脂が少し塗ってあります。松脂を左手に持ち、右手で弓を持って毛を張った状態で、松脂の表面を毛に軽く押し当て、全体に塗り足します



松脂自体をときどき回転させながら、松脂全体を均等に減らすイメージで、毛にむらなく塗ります

むらなく音が出れば充分塗れています。塗り過ぎに注意してください。塗りすぎた場合は、布等で拭き取ってください

注）弾き終わった後は弓をゆるめてください（毛が伸びると使用できなくなります）

楽器の構え方

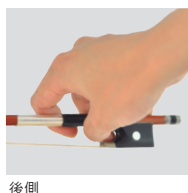
肩当ての付け方

幅の広い方が低音側になるように装着します。真横と決まっていますが、肩当ての脚部を本体にしっかりと付けて使用してください



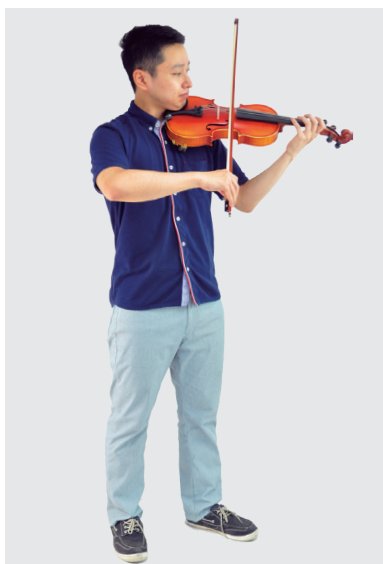
弓の持ち方 (右手)

写真を参考に、演奏に適した手の形で持てるように練習しましょう



楽器の構え方

1. 脚は肩幅ぐらいまで開き、左足を5cm程度前に出します(立って弾く場合)
2. 肩当てをつけたバイオリンを持ち、肩当の低音側のくぼみを左肩に乗せて、左顎で挟みます
3. バイオリンが体の左斜め45度あたりにくるように持ち、楽器はできるだけ水平になるようにします



バイオリンの構え方

バイオリンを弾いてみよう

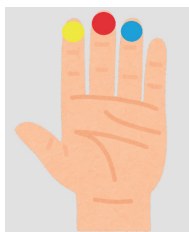
数ある楽曲の中でも最も簡単な曲が「きらきら星」です。楽譜とバイオリンの指を押さえる位置を載せているので、ぜひ演奏してみましょう！

きらきら星

The image shows a musical score for the violin, titled 'きらきら星' (Twinkle Twinkle Little Star). The score is written for three staves, each labeled 'Violin'. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The notes are color-coded to match the fingerings: green for 'E' (no finger), yellow for 'A' (index), red for 'D' (middle), and blue for 'A' (ring). The first staff has 8 measures, the second has 8 measures, and the third has 8 measures. The notes are: Staff 1: A, A, E, E, E, E, E, A; Staff 2: E, E, A, A, A, A, A, E; Staff 3: A, A, E, E, E, E, E, A.

楽譜の上にある「E」と「A」は押さえる弦を表し、音符の色は弦を押さえる指を表しています

- 何も押さえない
- 人差し指
- 中指
- 薬指



※この曲で使うのはE、A線だけです。使用しないG、D線も楽器の響きに大きく影響するので、正確に調弦します



Q 付属品の弓に不満があります

A 付属の弓は、現状の価格設定において提供できる最大限の品質です

- 各セットには、毛が張れて、松脂がつき、音が出せる、という基準を満たす弓が付属しています
- ワンランク上の弓をお探しの方は、PLAYTECHバイオリン弓「PVB100 / PVB300」をお買い求めください
- PVN500シリーズはPVB300弓が標準でセットされています

Q 弓で弦を弾くと、音が途切れます

A 松脂の量が足りない可能性があります

- 最初に弓に付いている松脂は検品時にチェック用として少量塗布したものです
- 音にムラが出ない程度まで塗り足しをお願いします
- 演奏に適切な量は、奏者の好みなど、個人差があります

Q 製品に張られている弦のメーカーは何ですか？

A 市販されている弦ではありません。製造工場にてセットアップ用の弦が張られています

- 交換用としてPLAYTECHのPVS100（スチール弦）も用意しています

修理が必要な例

- 内部に円柱の棒（魂柱）が転がっている
- 表板、裏板が剥がれたり、割れたりしている

※その他、疑問等がありましたら、弊社サポートまで連絡をお願いします

楽器のお手入れ

身体が触れる場所、ネックの裏、糸巻き、あご当て、テールピースなどは乾いた布、または楽器用クロスで拭いておきます

楽器用のオイルやポリッシュは、から拭きで落ちない汚れを落としたい時に、必要に応じて用います

※オイルやポリッシュは、汚れと一緒に拭きとるのが基本です
オイルの光沢感が残る状態で放置しないでください



楽器用クロス（別売）



Lyric WAX POLISH（別売）
（ワックスポリッシュ）



クリーニングオイルなど（別売）

日常のお手入れの基本は、から拭きです。ポリッシュやオイルの塗布と拭き取りに楽器用クロスは使用せずに、ティッシュや、布を使いましょう

※楽器用クロスでオイルやポリッシュを拭いてしまった場合は、使用后クロスを洗ってください



ほこりや松脂をハケではらう

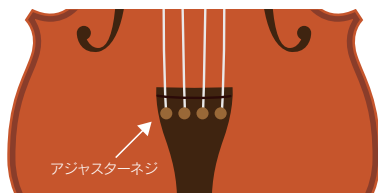
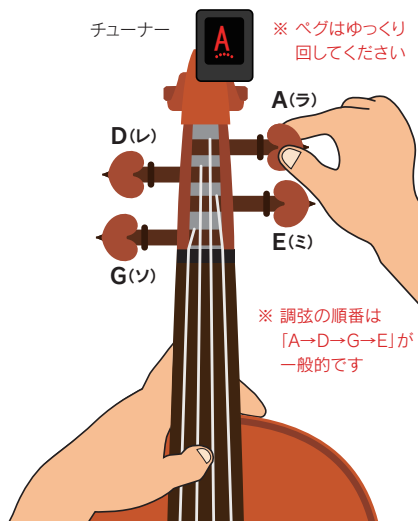


からぶきはメンテナンスの基本

サウンドハウスWEBサイト内の「虎の巻」にもバイオリンのメンテナンス方法を詳しく記載しています。ぜひご覧ください ▶



調弦（チューニング）



椅子に座り、楽器を正面に見て、左手でネックを握り、ももの上に楽器を縦方向で持ちます

ヘッドにチューナーを取り付け、図のように、右手でAとEのベグを操作します

ネックを持つ手の親指の腹で、弦を弾き、その音を聴きながら、音程を合わせていきます

（D、Gを調弦する場合、本体を持つ手は右手になり、左手でベグを操作します）

アジャスターを使い微調整を行いません。調弦前に左右どちらにも回せる中間程度の位置にしておきます。時計回りで音程が上がります

ベグの構造とスティール弦により、音程の動きが大きく、ベグだけでは正確なチューニングが難しい為、アジャスターネジを使って微調整が必要になります

注）駒の姿勢が変わっていないか、調弦後確認してください

バイオリンの調弦（チューニング）方法は、サウンドハウスWEBサイト内にて、動画でも詳しく説明しています。ぜひ参考にご覧ください



よくあるご質問(FAQ)

Q 弦が切れたのですが保証はありますか？

A 弦は消耗品のため、保証対象外です。替えの弦を準備して交換してください

- 初心者の場合、正しい音程より1オクターブ上の音程に合わせようとして、弦を切ってしまうケースがあります
- 弦の交換の仕方はサウンドハウスWEBサイト「虎の巻」にも掲載しています
- 弦交換の依頼は修理扱いとなり、弦の代金、送料が発生します

※ご購入後1ヶ月以内、通常使用において弦が切れた場合に限り交換します

Q ペグが緩んでしまう / 固すぎる

A ペグ・コンポジション（滑り止め/潤滑剤）をお試ください（別売）

- 弦楽器（バイオリン、ビオラ、チェロ）の糸巻きは、穴に差し込んで摩擦で固定する仕組みです
- サウンドハウスでは専門スタッフにより、ペグを使って調弦できることを確認してから出荷しています
- ペグは木材で作られている為、湿度が低いと緩みやすく、湿度が高いと固くなります

※どうしても上手くいかない時は、サポートまで連絡ください（調整が必要な場合もあります）

Q 楽器に細かい傷があります

A 弦楽器の製造工程において、細かなキズ、へこみ、色ムラの管理には限界があります

- 工場出荷段階で良品と判定された楽器を販売しています
- サウンドハウスでも出荷時に検品し、演奏及び通常のご使用に問題ないと判定したものを出荷しています

※演奏に支障がある大きな傷などがある場合はサポートまで連絡ください

Q 指が黒くなります

A 楽器の色がうつる場合があります。石鹸等で手を洗ってください

- 指板、あご当て等の着色パーツが、色うつりを起こす場合があります
- 黒檀パーツにおいても、色ムラ補正用の染料が色落ちすることがあります
- 弦による金属由来の汚れ（サビなど）が、指に付着することがあります

保管方法 / 発送時の固定方法

バイオリンは付属の専用のケースに入れて保管してください



収納イメージ



冬季はダンピット等で加湿し、夏期はドライフォルテ等の除湿剤で湿度調節することをオススメします（別売）

楽器を発送する場合

調整等のため発送が必要な場合は、下の写真を参考に、できるだけ楽器が動かないようにしてからお送りください



固定例

弓が外れないように
弓留めで固定

ケース内の楽器がガタつかないように
柔らかい紙などを詰める

駒の両脇とテールピースの下に
ティッシュ等を詰める



株式会社サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222

Website <https://www.soundhouse.co.jp> E-mail shop@soundhouse.co.jp